
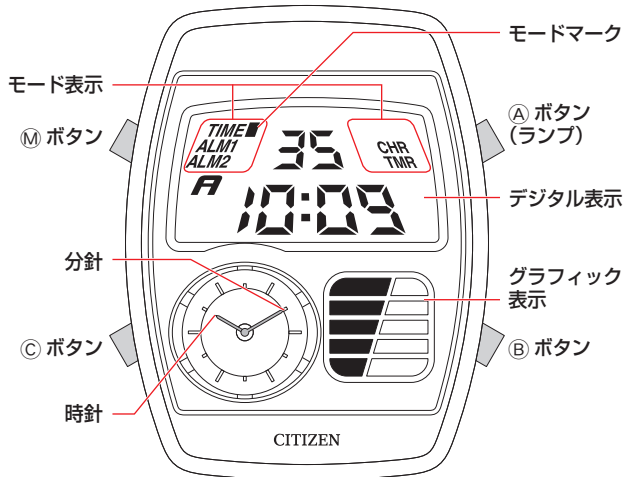


C351 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  C351 取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。


カレンダーを表示させる

1. M ボタンをくり返し押して、モードマーク (■) が「TIME」の横に来るようにする
2. B ボタンを押す
デジタル表示にカレンダーが表示されます。
・B ボタンを押すごとに、時刻表示とカレンダー表示が切り替わります。

時刻とカレンダーを合わせる

・アナログの時刻 (時針と分針) とデジタル表示について、それぞれ時刻合わせを行います。

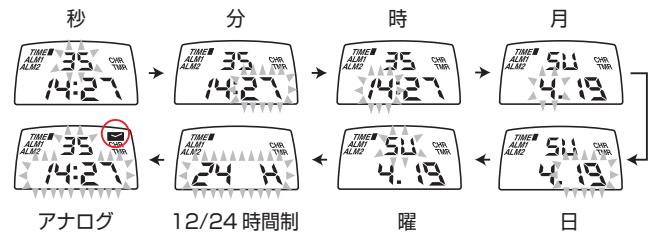
アナログの時刻を合わせる

1. M ボタンをくり返し押して、モードマーク (■) が「TIME」の横に来るようにする
2. C ボタンを 1 秒間以上押す
デジタル表示の「秒」が点滅し始め、時刻合わせができるようになります。
3. C ボタンをくり返し押して、デジタル表示の右上に「☑」を表示させる

4. B ボタンを押して、時刻を合わせる
・B ボタンを押し続けると、時針と分針が連続して動きます。
・アナログの時刻に、午前 / 午後の区別はありません。
5. M ボタンを押して、終了する

デジタル表示の時刻 / カレンダーを合わせる

・カレンダーは、1 度合わせるとうるう年の 2 月以外修正不要です。

1. M ボタンをくり返し押して、モードマーク (■) が「TIME」の横に来るようにする
2. C ボタンを 1 秒間以上押す
デジタル表示の「秒」が点滅し始め、時刻合わせができるようになります。
3. 時報に合わせて、B ボタンを押す
・B ボタンを押すごとに、デジタル表示の「秒」が「00」になります。
4. C ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・C ボタンを押すごとに、次のように、点滅部分が切り替わります。



5. B ボタンを押して合わせる
選んだ対象の表示が変わります。
・「分」「時」「月」「日」「曜」を選んでいるとき：B ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
・12/24 時間制：「12 H」を表示させると、「A(午前)」または「P(午後)」が表示されます。
6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を合わせる
7. M ボタンを押して、終了する

アラームを使う

デジタル表示の時刻に合わせて、アラームが約 20 秒間鳴ります。

- ・アラームは、「ALM1」または「ALM2」の 2 つの時刻を設定できます。
- ・アラーム音は、いずれかのボタンを押すと止まります。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードマーク (■) が「ALM1」または「ALM2」の横に来るようにする
デジタル表示に、現在設定されているアラーム時刻が表示されます。

2. **C** ボタンを押す
デジタル表示の「時」が点滅し始め、アラームの時刻を変更できるようになります。



3. **B** ボタンを押して、アラームの「時」を合わせる
・**B** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

4. **C** ボタンを押す
デジタル表示の「分」が点滅し始めます。



5. **B** ボタンを押して、アラームの「分」を合わせる
・**B** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. **C** ボタンを押して、終了する

アラームをオン / オフする

モードが「ALM1」または「ALM2」のときに、**B** ボタンを押します。

- ・**B** ボタンを押すごとに、アラームの「ON」 / 「OFF」(OFF) が切り替わります。

アラーム音を確認する

モードが「ALM1」または「ALM2」のときに、**B** ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

クロノグラフを使う

1/100 秒単位 (開始 60 分以降は秒単位)、最大 24 時間まで計測できます。

- ・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードマーク (■) が「CHR」の横に来るようにする
デジタル表示に、クロノグラフが表示されます。

2. クロノグラフを使う

スタート / ストップ : **B** ボタンを押します。

- ・計測中に **C** ボタンを押すと、デジタル表示に「SPL」が点滅し、経過時間 (スプリットタイム) が表示されます。経過時間表示を終了するには、もう一度 **C** ボタンを押します。

リセット : ストップ中に、**C** ボタンを押します。

- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TIME」にします。

タイマーを使う

1 分単位、最大 99 分のタイマーを設定することができます。

- ・他のモードに切り替えてもタイマーは継続されます。
- ・カウントダウン終了後は、自動で経過時間の計測 (秒単位) が始まります。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードマーク (■) が「TMR」の横に来るようにする

デジタル表示に、タイマーが表示されます。



- ・タイマーがリセットされているときは、タイマーの設定時間が点滅します。

2. タイマーを使う

スタート / ストップ : **B** ボタンを押します。

リスタート : カウントダウン中に **C** ボタンを押すと、設定時間から再度カウントダウンが始まります。

リセット : ストップ中に、**C** ボタンを押します。

- ・タイマー終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TIME」にします。

設定時間が過ぎると

カウントダウン終了音が約 5 秒間鳴り、経過時間の計測が始まります。音をとめるには、**A** ボタンまたは **C** ボタンを押します。経過時間の計測をやめるときは、タイマーをリセットします。

設定時間を変更する

1. タイマーをリセットする

デジタル表示で、タイマーの設定時間が点滅します。



2. **C** ボタンを押して、タイマーの時間を設定する

- ・**C** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

カウントダウン終了予告音を使う

以下の残り時間で、カウントダウン終了予告音を鳴らすことができます。

10 ~ 1 分 : 各分

1 分 ~ 10 秒 : 50 秒、40 秒、30 秒、20 秒、10 秒

10 秒未満 : 各秒

1. タイマーをリセットする

デジタル表示で、タイマーの設定時間が点滅します。

2. **A** ボタンを押しながら、**B** ボタンを押す

予告音がオンのときは、モードマークが点滅します。



- ・**A** ボタンを押しながら、**B** ボタンを押すごとに、予告音のオン / オフが切り替わります。

オールリセットを行う

- ・クロノグラフとタイマーはリセットされます。

1. **A**、**B**、**C**、**M** ボタンを同時に押す

ボタンを離すと確認音が鳴り、オールリセットが終了します。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻 / カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。